

ジーンズで日野町を賑やかに
「B.O.T」代表 竹永 正俊さん
(日野郡日野町下榎)

今日着ているデニムジャケットとジーンズも、自分で作りました。履いていくうちに変わっていく風合いを楽しみながら、自分だけのジーンズになっていくのが魅力です。



B.O.T
BRAND OF THE TOWN

春から秋にかけて鮎釣りやラフティングで賑わう日野川。令和2年3月、その畔に程近い集落に、竹永さんがジーンズの工房をオープンしました。

江府町にある老舗の縫製会社に勤務する竹永さんは、ジーンズの作り方を独学で勉強。昔ながらの製法にこだわり、80~100年前にアメリカやイギリスで作られたミシンをコツコツと収集、縫製工場で培った技術で整備を行い、ジーンズ発祥の頃の製法を忠実に再現したジーンズ製作を始めました。ジーンズは、裾縫い用、ウエストの帯縫い用、ポケットや前立ての二本針本縫い用など、工程ごとにミシンを変えながら、13台のミシンを使用し一人で縫い上げていきます。糸も箇所ごとに色や太さを変え、ポケットには隠しリベットを打つなど細かなところにもこだわって製作し、ジーンズ好きな方に人気を博しています。

竹永さんのジーンズを購入する方には、必ず工房を訪ねていただいています。これも竹永さんのこだわりで、日野町に来て、まちを知っていただき、そして自分だけのオリジナルジーンズを注文してほしい、との思いからです。県内だけでなく、九州や関西からも、多い日には30人ほどの方が工房を訪ねて来られるそうです。

工房を持つ夢を叶えた竹永さん、次の大きな目標は、ジーンズで日野町に地域貢献することです。



この裾縫い用のミシンは、100万円もしました!



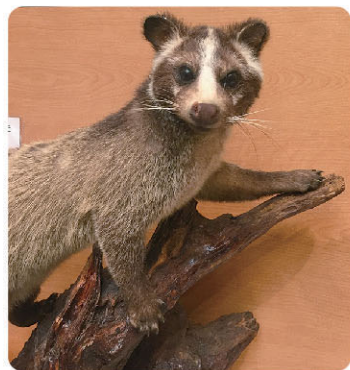
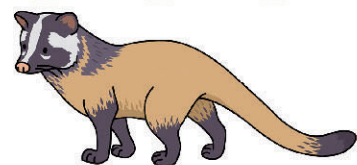
伝統的な縫製方法を守り、高度なスキルでアイロンを使わず縫い上げていく作業の様子



工房に所狭しと並ぶミシン

日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

屋根裏に忍び込んだのは
コイツかも!?



この顔にピンッ!と来るでしょうか?猫のようにスラリとした体格、長いしっぽ、何より目立つ白い鼻筋。こいつの名前は「白鼻芯(ハクビシン)」です。

太さ1mmほどのワイヤーの上を歩き、直径10cmほどの穴はすり抜け、垂直なプラスチック製雨どいのパイプも登ってしまう、忍者のような動物です。屋根裏に動物が入った際に、屋外の雨どいや柱を見回してみてください。爪痕ではなく、肉球の足跡が残っていれば、それはこのハクビシンの痕跡です。

近年、日野郡でも目撃情報が寄せられています。イチゴやブドウ、トウモロコシなど甘いものに被害を出すことがあります。これまでに見たことがない足跡や被害がありましたらお気軽にご相談ください。

日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399

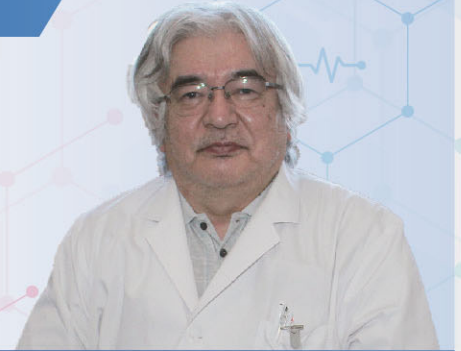
新型コロナウイルス感染症への日野郡の備え
住民の皆さんの命と健康を守る取組
各医療機関の先生からみなさまへ



日南病院 佐藤 徹 病院長

日南病院は「時々病院、しっかり家庭」をポリシーに、在宅医療に力を入れています。MRIが必要な時は日野病院にお願いして、患者さんは、その後再び自宅に近い日南病院に入院するなど、日野病院と連携しながら住民の皆さんの健康を守っています。

お正月は人の動きが多くなるので、特に御高齢の皆さんは、とにかく命を守る行動をとってください。

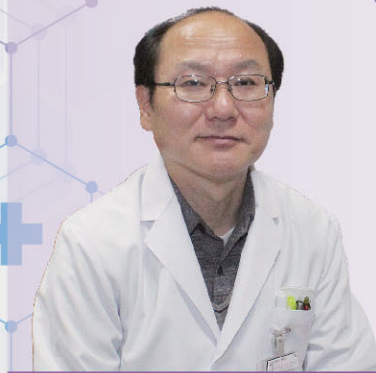


日野病院 孝田 雅彦 病院長

日野郡の医療を守るためには、医療機関同士の連携がたいへん重要だと考えています。

新型コロナウイルス感染症対応も、医療連携協定に基づいて、日南病院から一時的にPCR検査機器をお借りし、万全の体制をとるなど、日頃より協力して住民の皆さんの命と健康を守っています。

鳥大からも医師を派遣いただいております。日野郡の皆さんにとって、医療連携の重要性は、今後さらに高まっていくと思います。



江尾診療所 武地 幹夫 所長

新型コロナウイルス感染症は、年末年始が要注意です。都会から来られた方と交流するときは、3密を避け、食事以外のときはマスクを着用するなど、守るべきことを徹底し、備えをしっかりとってください。また、医療機関は感染予防を徹底していますので、持病のある方はコロナに気を付ける一方で、必要な医療を受けてください。

医療連携協定を締結して、コロナ診断から治療まで、日野郡で完結する体制が整いました。いざという時も安心して相談してください。



「日野郡の医療連携に係る基本協定」調印式

日野郡の医療機関は、新型コロナウイルス感染症への取組を連携して行っています。

日野郡には、日南病院、日野病院、江尾診療所の3つの医療機関があり、住民の皆さんの命と健康を守る岩として重要な役割を果たしています。

令和2年3月には、日野郡の安定的な医療提供体制の確保と地域医療人材の育成を目的とし、鳥取大学医学部附属病院と日野郡3町が、「日野郡の医療連携に係る基本協定」を締結しました。この基本協定に基づき、新型コロナウイルス感染症対策などに、3つの医療機関が連携して取り組んでいます。

(写真左から)鳥大医学部 谷口教授、日野町 谷田町長、江尾診療所 武地所長、日南町 中村町長、鳥大医学部附属病院 原田病院長、江府町 白石町長、日野病院 孝田病院長、日南病院 中曾事業管理者

発熱等の症状が出たときは、まずはかかりつけ医に連絡を!! かかりつけ医がないなど、お困りの方は下記へ。

- ◆受診相談センター(24時間対応)発熱等がある方で、かかりつけ医がないなどお困りの方はこちらへ <9:00~17:15>(土日祝含む) 看護協会委託 電話:0120-567-492 <左記時間以外> 米子保健所 電話:0859-31-0029
- ◆接触者等相談センター 陽性者と接触歴がある方や接触した可能性があるなどの心配がある場合は各保健所へ 米子保健所 電話:0859-31-0029

日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072